

令和4年度 農業研修者(地域おこし協力隊・就農研修者)
研修結果報告

●地域おこし協力隊員①

氏 名:河合 大輔

活動地区:多寄地区

受入先:(株)大西農産

活動期間:令和3年4月～令和5年3月



(1)令和4年度の研修を振り返って

(研修内容・地域交流活動の状況、研修で学んだこと、感想など)

今年度は、自作研修で大豆とビートの作業をすべて行いました。

反省点は草をたくさん出してしまった圃場があったことです。また、ビートの収穫の際にうまく収穫できず、多く取りこぼしてしまいました。

一年を通して、作物にかかるすべての作業を経験できたことは、とても勉強になりました。

(2)令和5年度の研修に向けた目標や意気込み

(令和4年度に研修終了する場合は、今後の就農状況・目標・意気込み)

私は今年度で活動を終了し、農業法人に就職することに決めました。

大西さんをはじめ多寄地区の皆様から学んだことを生かし、新たなところでもしっかり働いていきたいと思えます。

(3)目指す将来像について(将来どのような農業を目指しているか)

農薬や肥料、農業資材などの価格高騰がしていますが、そのような大変な情勢でも生き残れる農家を目指していきたいです。

●地域おこし協力隊員②

氏 名:宮内 汰朗

活動地区:上士別地区

受入先:(株)田舎塾

活動期間:令和3年4月～令和5年3月



(1)令和4年度の研修を振り返って

(研修内容・地域交流活動の状況、研修で学んだこと、感想など)

今年度はトラクターでの作業が増え、責任感を持つことが増えました。

農家は天気によって左右される仕事なので、ミスをして仕事を遅延させないようにすることを改めて認識しました。

(2)令和5年度の研修に向けた目標や意気込み

(令和4年度に研修終了する場合は、今後の就農状況・目標・意気込み)

地元に戻り親元就農することに決めました。

作付面積は少ないですが、良質な作物が作れるように頑張ります。

(3)目指す将来像について(将来どのような農業を目指しているか)

地域おこし協力隊に応募したときから目標としていますが、美味しいお米を作る農家になれるよう、研修で学んだことを生かして頑張っていきたいです。

●地域おこし協力隊員③

氏 名:西川 尚吾

活動地区:朝日地区

受入先:(農)あさひ

活動期間:令和4年4月～



(1)令和4年度の研修を振り返って

(研修内容・地域交流活動の状況、研修で学んだこと、感想など)

今年度の研修では、朝日町のコントラクターにおいて、夏場は主にオペレーター業務、冬場は主に機械整備を行いました。オペレーター業務については、長時間トラクターやコンバインなどの機械を運転し、操作方法や作業について学びました。多くの機械を扱うことで幅広く理解できました。

一方で、慣れない作業が多かったため、機械の部品を破損させることも多々ありました。大きな機械を操作する以上、より一層注意しなければならないと感じました。

冬場の機械整備については、周りの先輩方から様々な知識を吸収できました。機械について知ることによって、それを夏場のオペレーター業務にも活かしていきたいです。

(2)令和5年度の研修に向けた目標や意気込み

(令和4年度に研修終了する場合は、今後の就農状況・目標・意気込み)

今年度は初年度だということもあり学ぶことがかなり多くあった一方で、忘れてしまっている部分もかなりあると感じています。次年度は幅広く学んだ個々の作業について、より理解を深めていきたいです。機械の運転に慣れてきているものの、慢心することなくより一層の注意を払って活動していきたいです。

また、就農する際の具体的なイメージを持ちながら作業するように心がけたいと思います。

(3)目指す将来像について(将来どのような農業を目指しているか)

目指す将来像は大規模な畑作農家です。就農時に大きな土地と機械を揃えることは難しいため、兼業での就農を目指したいと考えています。

主に作付けしたい作物は大豆と小麦で、輪作体系に他の作物も入れたいが、人手や機械のことも考慮しつつ、馬鈴薯や甜菜だけでなく他の露地野菜なども含めながら考えていきたいです。

●地域おこし協力隊員④

氏 名:中藪 大和

活動地区:上士別地区

受入先:(株)田舎塾

活動期間:令和4年8月～



(1)令和4年度の研修を振り返って

(研修内容・地域交流活動の状況、研修で学んだこと、感想など)

7月からの採用の為、本年度は半年のみの研修でしたが、自分のやりたいことをある程度見極めることができました。また、周りのサポートもあり、今までよりもよりリアルな農業についてたくさんの学びがありました。

反省点としては、事前知識が乏しく、自分の考えがまとまっていない状態で研修が始まってしまった点は良くなかったと感じています。

(2)令和5年度の研修に向けた目標や意気込み

(令和4年度に研修終了する場合は、今後の就農状況・目標・意気込み)

昨年以上に新規就農に対するイメージが固まったため、自分のやるべき農家に向けての技術と知識を深め、新規就農の準備も並行して進めていきます。

(3)目指す将来像について(将来どのような農業を目指しているか)

施設園芸をメインに据え、将来的には露地野菜の栽培もおこなえるような農家を目指します。

まずは、ハウス5棟でトマトの栽培を行うことを目標としています。

●就農研修者①

氏 名:大川 尚

研修地区:朝日地区

受 入 先:(農)あさひ

研修期間:令和2年4月～令和4年11月



(1)令和4年度の研修を振り返って
(研修内容・地域交流活動の状況、研修で学んだこと、感想など)

○研修内容

ミニトマト、にんにく、かぼちゃ、長ねぎの栽培、収穫、出荷

3年目の研修だったので、1～2年目の活動を前提として先の事を少しずつ考えながらできたかなと思います。

(2)令和5年度の研修に向けた目標や意気込み
(令和4年度に研修終了する場合は、今後の就農状況・目標・意気込み)

合同会社やぶかわ農園を立ち上げ運営を始めていきます。

トマトのハウスの棟数やにんにくの面積も増えるので、目を行き届かせる事への不安はありますが、これまでの研修内容を踏まえ頑張っていこうと思っています。

(3)目指す将来像について(将来どのような農業を目指しているか)

それぞれ得意な分野を生かせる様に活動していきたいと思っています。

地域の方々に助言をいただきながら、安定した野菜の栽培と加工品を展開できるように技術を身につけていきたいです。

●就農研修者②

氏 名:藪 愛香

研修地区:朝日地区

受入先:(農)あさひ

研修期間:令和3年4月～令和4年11月



(1)令和4年度の研修を振り返って

(研修内容・地域交流活動の状況、研修で学んだこと、感想など)

○研修内容

- ・トマト、かぼちゃ、にんにく、長ねぎの栽培方法
- ・ハウス設営、管理
- ・作物の病気などの予防、対処法
- ・加工品開発の流れ

前年度で流れを学んだので、今年度は確認しつつ他の方法を実践してみたりと色々考えながら研修できた1年でした。

(2)令和5年度の研修に向けた目標や意気込み

(令和4年度に研修終了する場合は、今後の就農状況・目標・意気込み)

研修で学んだ事を生かして、昨年と同じかそれより多い収量を目指していきたいです。

作物については特にトマトの味を安定して出荷できるようになりたいです。

(3)目指す将来像について(将来どのような農業を目指しているか)

自分たちで生産から販売まで携われるような農業を目指しています。

また、加工品にも力を入れ通年で農業関係の仕事ができるようになりたいです。

●就農研修者③

氏 名:犬飼 俊輔

研修地区:北町地区

受入先:大崎 陽司

研修期間:令和4年4月～令和4年11月



(1)令和4年度の研修を振り返って

(研修内容・地域交流活動の状況、研修で学んだこと、感想など)

今年は、北町地区と多寄地区の2カ所で研修をさせていただきました。

地区ごとの圃場性の違い、作物ごとの特性の違い、育て方など多くのことを教わりました。また、地域の方々との交流など、研修会等を通じてたくさんの出会いもありました。

1年間研修をして思ったことは、農業の苦労が身に染みて感じました。

苦労と言っても、体の疲れだけではなく、全体を通して色々なことを常に考え、情報等をいち早く収集しなければいけないと思いました。

足元だけではなく、未来の事までも視野に入れなければ農業者や経営者にはなれないということを考えさせられる1年でした。

情勢も常日頃変わり、その中でも良質な作物を作り出荷をする、当たり前のように決して簡単では無いことを、続けていると言う素晴らしさも感じました。

最後に、今どの業種も同じだと思いますが「人手不足」、この言葉通り、人の手が農業にとっても大きく重要だと思いました。

今までの出会い、地域での助け合いを大切にしていきたいと思います。

(2)令和5年度の研修に向けた目標や意気込み

(令和4年度に研修終了する場合は、今後の就農状況・目標・意気込み)

令和5年度から新規就農者として始めます。農業自体も、経営自体も、未熟者です。不安もありますが、やると決めたら最後までやり通したいと考えています。

畑作をメインに作付けを行います。大豆、秋小麦、甜菜、かぼちゃ、ブロッコリー、の5品目の作付けを行います。

目標としては、良質な作物を作り出荷をしたいのですが、まだ未熟者ですので、圃場作りからきちんと学んだことを生かしながら、出荷まで行いたいと思います。

最後に、体が主本となる仕事なので、体調管理、怪我等無いよう長く営農したいと思います。研修で学んだ事を生かして、昨年と同じかそれより多い収量を目指していきたいです。

(3)目指す将来像について(将来どのような農業を目指しているか)

将来目指す農業は、大規模な圃場を有する農家になりたく思います。

そのためにも、自分自身しっかりと力をつけ、多くの事を学び、人手不足を補うためにも雇用体制を整えていきたいと思います。

また、地域に根付いた農業者になりたいと思います。

そして、自分たちで生産から販売まで携われるような農業を目指しています。加工品にも力を入れ通年で農業関係の仕事ができるようになりたいです。